

平年作以上でしょう

「例年よりやや遅れて田植えがはじまりました」と5月の広報で紹介した町内の田んぼでは、9月にはいつて順調に稲刈りがはじまりました。記録的な今年の暑さは作物や生産者にもちよつと堪えた一年だったようですが、苦勞して育てた作物の収穫が無事であると思えます。



良いお米になりました。

9月29日「地産地消」に取組むJAとまこまい広域菊地専務より「学校給食などで味わって欲しい」と新米80kgの寄贈を受けました。

いただいた新米は「統一した高品質米」広域ブランド米「たんとうまい」（広域ブランド米）で給食センターでは献立を考えた上で利用を考えています。



天候に恵まれ発育良好

5月の田植えから3か月半。7月中旬に環境整備（草取り）を経て例年になく猛暑を乗り越えた遠浅小の稲は、沢山の実をつけ重そうに頭を垂れていました。

9月15日遠浅小の児童たちによつて稲は綺麗に刈り取られ、はさがけに掛けられました。天日で乾燥させた後、おいしいもち米として児童たちの元へ。次は待ち焦がれた餅つき大会。実りの秋に感謝！



100歳のお祝いです

敬老の日にあわせ100歳の方に贈られる内閣総理大臣からのお祝いを9月22日に、今年も町長が直接伝達するために町内を回りました。

町内には今年3名の対象者がいますが、今回は贈呈を希望をされた2名に賞状と記念品が贈られました。

最初に訪れた金久保さんからは普段から作っている物の披露と「これをどうぞ」と記念品のお返しまでいただくこととなり、「かえつてご迷惑をかけてしまつて」と逆に贈呈された町長からは笑みがこぼれていました。これからも長生きしていただくことをご祈念いたします。



北海道知事感謝状受賞

9月22日胆振総合振興局で石橋局長代読のもと真保生紀さん（早来大町）さんに北海道知事感謝状（観光ホスピタリティ実践者）が送られました。

真保さんは、昭和60年4月に早来郵便局長に就任後、「雪だるま」を考案。郵便局の名称を「早来雪だるま郵便局」に改称、また「雪だるま型ポスト」を設置するなど地域振興の発展に大きく貢献しました。退職後も安平町観光協会副会長を務め、安平町の観光事業に尽力。平成20年2月にはブラジル移民100周年記念事業においては巨大雪だるまプロジェクトに参加。今年6月には札幌市で開催されたAPEC貿易担当大臣会合会場で「雪だるま」が大臣お出迎え役に採用されたことなど、北海道の観光振興に尽くした功績は大きいものと評価されたの受賞となりました。



交通ルール守ってね！

9月28日 追分幼稚園の交通安全教室が北海道警察白バイ隊（ノースウイングス）の協力で開催されました。

重さ300kg以上もある大きな白バイに乗りやってきましたのは女性警察官を目前にした園児たちの表情に緊張はなく、交通ルールの話しにも楽しく耳をかたむけて元気良く受け答える場面もありました。

園児全員が白バイにまたがり白バイ隊の気分？になつていつも以上に交通安全の学習ができたようです。

